



週間情報



No.2408

発行日 平成24年2月28日

発行所 全国消防長会

(財)全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 「消火器の規格・点検基準改正リーフレット」の活用について

全国消防長会

全国消防長会では、「消火器の規格・点検基準改正リーフレット」の活用について（平成24年2月24日付け全消発第39号）を全国消防長会事務総長名で、各会員あてに次のとおりお知らせしました。

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から、本会の運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別添えのとおり財団法人日本消防設備安全センターから、「消火器の規格・点検基準改正リーフレット」の周知について依頼がありました。

本会といたしましても、老朽化消火器による破裂事故を防止するための普及啓発活動に協力してまいりますので、趣旨等をご理解いただき、本リーフレットの積極的なご活用について、特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

なお、本リーフレットにつきましては、財団法人日本消防設備安全センターから各消防本部あてに別途送付されますことを申し添えます。



【リーフレット表紙】

◆ 九州地区警防実務研修会を開催

全国消防長会九州支部

全国消防長会九州支部では、平成24年2月2日（木）から2月17日（金）の間、福岡市消防学校において、九州各県46消防本部50名の警防部門に従事する中堅幹部職員を対象に、警防活動における指揮能力の向上及び警防活動体制の強化を図ることを目的として、警防実務研修会を開催しました。

本研修は昭和58年度から開催している宿泊研修で、指揮実戦訓練を始め、災害シミュレーション訓練、NBC災害対応訓練、耐熱訓練、山岳訓練、災害事例研究などを実施し、外部講師によるコミュニケーションスキル向上及び特殊災害事例研修も併せて実施しています。

今後も、九州管内の警防技術、能力の向上及びさらなる団結力の強化に向け、研修内容の充実を図って参りたいと思います。



【警防実務研修会（実戦訓練）の状況】

◆ 九州地区予防実務研修会を開催

財団法人全国消防協会九州地区支部

財団法人全国消防協会九州地区支部では、平成24年1月16日（月）から1月27日（金）の間、福岡市消防学校において、九州各県40消防本部43名の予防業務に従事する職員を対象に、予防査察業務や違反是正業務等における知識及び技術の向上を図ることを目的として、予防実務研修会を開催しました。

本研修は、平成21年度から開催している宿泊研修で、査察シミュレーションを始め、外部講師によるコミュニケーション実習、違反処理の法律知識、情報公開・個人情報保護制度及び報道対応などの内容も含め実施しています。今後も、九州管内の予防行政の発展に向け、研修内容の充実を図って参りたいと思います。



【小規模福祉施設避難訓練実施要領】



【消防法第5条の3 命令要領及び実技研修】

消防本部の動き

◆ 「Stair Race 2011 in TOYOHASHI」の開催

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、平成23年11月20日（日）に豊橋総合動植物公園において、141名の選手が参加し、ステアーレース（階段駆け上がりレース）を開催しました。

ステアーレースの目的は、住民の生命・身体及び財産を守るため消防・警察等の業務及び地域防災の要である消防団活動の理解と住民の協力により防災力向上を図ることをテーマとして、高層建物で発生した災害に対応するために必要不可欠な体力を競い合います。

また一般市民や参加選手などとの交流を行うことにより、幅広い人脈と知識・技術の習得も図ることができ、今回で第5回目を迎える本レースでは、豊橋総合動植物公園にて開催し、多くの来場者との交流が行える大会でした。

また、同時に東日本大震災復興支援を目的として開催した「がんばろう日本・ええじゃないか豊橋 消防フェスティバル」において賛同いただいた義援金 300,653 円を「Stair Race 2011 in TOYOHASHI」実行委員会（事務局：豊橋市消防本部総務課）が亙理地区行政事務組合消防本部に対して、平成24年2月20日（月）亙理町役場で、豊橋市消防本部（丸山消防長）から亙理地区行政事務組合消防本部（鈴木消防長）に、一日でも早い復興への願いをこめて義援金を手渡しました。

当消防本部は緊急消防援助隊愛知県隊として発災当日から宮城県亙理郡亙理町、山元町で救援活動をしていました。



【宮城県亙理地区行政事務組合消防本部から2名の選手を招待】



【丸山消防長（左）から鈴木消防長へ】

◆ 創立50周年記念 広島市消防音楽隊定期演奏会を開催

広島市消防局（広島）

広島市消防音楽隊は、昭和36年7月、音楽を通じて市民に消防業務を広くPRすることを目的として発足し、現在では、防火・防災を広める式典・コンサートでの演奏のほか、パレードやマーチングなど、主催者のニーズに合わせた演奏スタイルで、年間約70回の演奏活動を行っています。

創立50周年となる今年は、市民の皆様の日頃の感謝を込め、平成24年2月11日（土）に広島市中区のアステールプラザにおいて記念演奏会を開催し、約1,200名が来場しました。

演奏会では、幅広い演奏と趣向を凝らした防火・防災広報をはじめ、東日本大震災での活動披露などを行いました。



【広島市消防音楽隊 創立50周年記念演奏会】

◆ 「火災をブロック！」火の用心バレーボール大会の開催

柳川市消防本部（福岡）

柳川市消防本部では、平成24年2月12日（日）に柳川市民体育館で、地域住民の防火思想普及と参加者等の親睦を目的として、「柳川消防・火の用心バレーボール大会」を毎年実施しています。

本年は、総勢43チーム、来賓、選手、役員等約306名が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会開会式では防火にちなんだプラカード賞表彰、消防職員による消火器の取り扱いや廃消火器の危険性、住宅用火災警報器の重要性や天ぷら油火災の注意など防火講話を行いました。



【火の用心バレーボール大会の状況】

◆ ヘリコプターからの隊員投入訓練を実施

香芝・広陵消防組合消防本部（奈良）

香芝・広陵消防組合消防本部では、平成24年2月13日（月）、奈良県第二浄化センタースポーツ広場駐車場において、奈良県防災航空隊の協力により、救急救命士と救助隊員の現場投入訓練を実施しました。

訓練は、ホイスト降下を体験し、ヘリコプターによる救助活動時の活動内容や安全管理など各種想定について確認し、今後のヘリコプター活用時の防災航空隊との連携を図ることができました。



【防災航空隊による説明】



【当本部隊員によるホイスト降下訓練】

◆ ～ ゴルフプレー中に、救急救命リレー ～ 消防協力者に感謝状

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、平成24年2月14日（火）に本部庁舎で、平成24年1月17日（火）8時42分頃、宝塚市長尾山のゴルフ場内で発生した救急事案に際して、AEDを活用し救急救命処置を行った2名に、当消防本部消防長から、この勇気ある行動に対して、感謝状を贈呈しました。

受章者は、プレーの準備中に異変に気づいたプレーヤーの獣医師と同ゴルフ場社員の2名で、コース上で男性（68歳）が倒れ意識がない状態のため、いち早く心肺蘇生法とAEDを使用し除細動を3回実施し、救急隊が到着し引き継ぐ時には、男性（68歳）の脈拍、呼吸が回復していました。

その後、病院へ搬送され傷病者は一命を取りとめ現在は病院で療養中です。

受章後、プレーヤーの獣医師とゴルフ場社員の2人は「AEDの機能は素晴らしい。救急救命処置の知識が緊急時に役立った。」と話しました。

今後も当消防本部では、市民への救命講習を普及させ、救命率の向上を図っていきます



【感謝状贈呈式の状況】

◆ 消防総合訓練の実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部（埼玉）

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部では、平成24年2月17日（金）坂戸市石井水処理センターで、大規模災害発生時における体制強化を目的として消防総合訓練を実施しました。

訓練は、地震により家屋が倒壊、ビル火災が発生し多数の要救助者が発生したとの想定により、埼玉県防災航空隊、警察と連携し、警防本部設置を含めた訓練を行いました。

訓練には、消防車両等16台、ヘリコプター1機、パトカー1台、隊員100名が参加し、警防本部体制の強化及び関係機関との連携がより図られました。

また、訓練見学者へ東日本大震災に伴う派遣経験を生かし、見直しを行った緊急消防援助隊野営資機材の展示説明を行いました。



【総合訓練実施状況】

◆ **新消防艇「飛龍」の運用を開始**

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局では、今年度23年ぶりに消防艇を更新整備し、平成24年3月1日（木）より新消防艇「飛龍」の運用を開始します。新消防艇は災害現場への迅速な到着や離島における救急事案に対応するため、機動力の大幅な向上を目指し、総トン数を現消防艇の54トンから19トンへと小型化し建造しました。

新消防艇の特長はウォータージェット推進装置を装備することにより、国内の消防艇では最速の40ノットを実現しています。これにより、本市消防局管内では最も離れている小呂島（おろのしま）までの所要時間が、片道2時間から1時間へと短縮するなど、消防ヘリコプター中心の離島の防災体制が消防艇の更新整備によりさらに強化されました。

海上における様々な消防活動で活躍し、福岡市民に安心・安全を届けてまいります。



【新消防艇「飛龍」】

[諸 元]

新消防艇		
総トン数	19トン	
主要寸法	全長18.20m, 全幅4.00m, 喫水0.90m	
最高速度	40ノット(約74km/h)	
巡航速度	30ノット(約56km/h)	
定員	16名	
推進装置	ウォータージェット	
消防ポンプ	6,000(リットル/分)×1基	
主要積載 資器材	救急資器材	人工呼吸器, AED 自動心臓マッサージ器など
	暗視カメラ	夜間の捜索活動
	救助用水中ソナー	半径200mが捜索可能

◆ **ホームページアドレスの変更について**

- 31914 秦野市消防本部（神奈川）
新ホームページアドレス
<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/shobo/anzen-anshin/setsume.html>
（平成24年2月15日付けで変更）
- 63303 東大阪市消防局（大阪）
新ホームページアドレス
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/hfd119/>
（平成24年3月1日付けで変更）

◆ **電話便号の変更について**

- 73601 鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）
新代表電話番号 0857-23-0119
（平成24年3月1日付けで変更）

国等の動き

◆ 「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書」の公表

消防庁

標記について、平成24年2月21日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。消防庁では、平成23年6月より「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会」を開催し、火災危険性を有するおそれのある物質や火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質について調査検討を行ってきたところです。

この度、報告書が取りまとめられましたので、公表します。

【別添資料】（省略）

「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書」の概要

※ **報告書**全文については、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>) に掲載します。

【連絡先】危険物保安室

担 当：中本、玉越、開原

電 話：03-5253-7524

F A X：03-5253-7534

◆ 平成23年度消防功労者消防庁長官表彰

消防庁

標記について、平成24年2月23日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。
消防記念日（3月7日）にちなみ、3月8日（木）に「平成23年度消防功労者消防庁長官表彰式」を行います。本表彰式において表彰する受章者は次のとおりです。なお、詳細は別添（省略）のとおりです。

1. 表彰種類等

(1) 功労章

【受章数174名 内訳：消防吏員108名 消防団員65名 消防教育職員1名】

防災思想の普及、消防施設の整備、その他の災害の防御に関する対策、消防教育の実施について、その成績が特に優秀な現職の消防吏員、消防団員及び消防教育職員

(2) 永年勤続功労章

【受章数2,897名 内訳：消防吏員1,188名 消防団員1,709名】

永年勤続し、その勤務成績が優秀で、かつ、他の模範と認められる現職の消防吏員、消防団員及び消防教育職員

(3) 表彰旗

【受章数30機関】

防災思想の普及、消防施設の整備、その他の災害の防御に関する対策の実施について、その成績が特に優秀で、かつ、他の模範と認められる消防機関

(4) 竿頭綬

【受章数3機関】

防災思想の普及、消防施設の整備、その他の災害の防御に関する対策の実施について、その成績が特に優秀で、かつ、表彰旗を授与する消防機関に準ずる消防機関

(5) 都道府県消防防災関係事務従事職員表彰

【受章数2名】

都道府県の消防防災関係事務職員として永年勤務し、その勤務成績が特に優秀な者

2. 表彰式

(1) 日時：3月8日（木）10時30分～11時00分

(2) 場所：ニッショーホール（東京都港区虎ノ門二丁目9番16号）

(3) 出席予定者：消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長、審議官、消防大学校長、消防研究センター所長

※ 名簿（省略）には、報道発表日現在、長官表彰を授与することと決定された者を記載しておりますが、表彰式までの間に、名簿の記載事項に異動が生じることもありますので、ご承知おきください。

※ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/2402/240223_1houdou/01_houdoushiryou.pdf)
に掲載されています。

【連絡先】総務課

担 当：西澤政策評価広報官・宗係長

電 話：03-5253-7521 内線42171

F A X：03-5253-7531

◆ 平成23年度国の補正予算（第3号）に係る消防団安全対策設備整備費補助金及び消防防災通信基盤整備費補助金交付決定（第2次）

消防庁

標記について、平成24年2月23日に次のとおり報道発表されましたのでお知らせします。

消防庁は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第6条第1項の規定に基づき、消防団安全対策設備整備費補助金及び消防防災通信基盤整備費補助金について、本日、次のとおり交付決定を行いました。

1 今回交付決定額 41億73百万円
(内訳)

- 消防団安全対策設備整備費補助金 207団体 3億76百万円
(水災用資機材、夜間活動用資機材)
- 消防防災通信基盤整備費補助金 のべ121団体 37億97百万円
(防災行政デジタル無線施設、消防救急デジタル無線施設、全国瞬時警報システム(J-ALERT))

2 補助金交付決定状況

別紙(省略)一覽参照

※ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/2402/240223_1houdou/02_houdoushiryou.pdf)
に掲載されています。

【連絡先】

- (1) 消防団安全対策設備整備費補助金
防災課
担 当：常木係長、堀事務官
電 話：03-5253-7525
FAX：03-5253-7535
- (2) 消防防災通信基盤整備費補助金
防災情報室(消防救急デジタル無線施設及び防災行政デジタル無線施設担当)
担 当：鳥枝補佐、天野事務官
電 話：03-5253-7526
FAX：03-5253-7536
- 国民保護室(J-ALERT担当)
担 当：明田係長、神田事務官
電 話：03-5253-7550
FAX：03-5253-7543

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail: weekly@fcj.gr.jp